

# 明誠学院や光南4強

全国高校サッカー  
岡山県予選

第96回全国高校サッカー  
選手権岡山県予選第6  
日は28日、美作市の美作  
ラグビーサッカー場など

で準々決勝4試合があ  
り、明誠学院、光南、学  
芸館、作陽が4強入り

▽準々決勝 学芸館5-0  
玉野、明誠学院2-1翠松、  
作陽1-0就美、光南3-0  
古城池  
準決勝は29日、笠岡市  
の笠岡陸上競技場で午前  
11時から学芸館、明誠学  
院、午後1時半から作陽  
光南が行われる。



雨で滑りやすくなったピッチ。トラップが微妙に乱れ、ライン裏を効果的に突いた。得意のパスワークが影を潜め

中、明誠学院は翠松のDF  
均衡を破ったのは後半21

## DF裏突き2ゴール 明誠学院

前半、ドリブルで攻め上がる明誠学院の江口  
隼太(7) 美作ラグビーサッカー場

分。FW上元が左サイドに抜け出し、折り返しをMF江口が冷静に流し込む。決勝ゴールは1-1で迎えた終了間際だ。上元がMF屋代の縦パスに反応してGKと1対1に。丁寧にネットを揺らした。

試合前、選手には服部監督から「パスが回しにくかったら自分たちで(戦い方を)変えてい」と指示があったという。「裏をシンプルに狙おうと途中で声を掛け合った」と上元。イレブンの判断力も勝因だろう。

1月の新人大会1回戦敗退から出発したチームは夏の県総体で準決勝まで進んだ。「次も勝って成長したところを見せる」と主将のDF山根。初のファイナル進出を懸け、前回王者・学芸館に挑む。(亀井良平)

## 光南 追加点 貴重なエース



前半37分、光南のFW飯尾柁太(右)がゴールを決め2-0とリードを広げる＝美作ラグビーサッカー場

エースナンバー「10」にふさわしいゴールだ。光南のFW飯尾。1-0

の前半37分、ペナルティエリア左外から左足を振り抜き貴重な追加点。果敢な戦いを続けていた古城池の勢いをそいだ。こぼれた浮き球に素早く反応した強烈なボレー。「(ゴールまでの)コースがはっきりと見え

た。矢のような弾道がGKの伸ばした手をかすめネットに突き刺さった。中学時代は強豪クラブのハジャスに所属し、ナショナルトレセンに選ばれた2年生。高校入学後すぐに10番を与えられたが前回大会決勝、今夏の県総体決勝と重要なゲームでゴールを奪えず「大舞台で点が取れていないのが悔しい」と語る。

準決勝の相手は作陽。「決勝のつもりで戦う。勝利に貢献したい」。ライバル撃破には180キック、70キの活躍が欠かせない。(亀井良平)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。